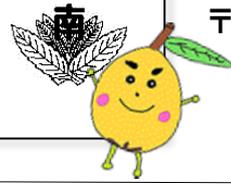


# 南の風

## No.29

令和2年5月7日



〒851-0245 TEL095-836-0085

長崎市千々町513番地

長崎市立南小中学校長

岡田 政宏

### 学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成



職員室の大型モニタに映し出される在宅勤務職員

## テレワークで参加

ズームシステムの活用は、遠隔学習だけにどまりません。政府の、接触8割減の提言を受け、市内公立学校でも、積極的に在宅勤務を推進することになりました。本校での導入初日となる23日には、一名が在宅勤務。朝のミーティングにズームを使い参加しました。声のやり取りはもちろん、大型モニタで

表情もよく伝わり、ズームの機能を使い、書類などの資料の共有を行うなど、職員室に在ると変わらない打ち合わせができました。また、在宅勤務者が自宅から子どもたちへ遠隔学習を行う取組もすでに始まりました。先生が授業をするのは学校、という常識が崩れた瞬間でもありません。27日には、他

校の校長先生にもこのことをお知らせし、校長室にいながら数名で会議を行うこともできました。実にいい。移動の時間も無駄にならず、接触もしないオンライン。新型コロナウイルス感染拡大という困難が、今後の学習スタイルや働き方を大きく変えていくきっかけとなるのではないのでしょうか。そんな予感がしています。

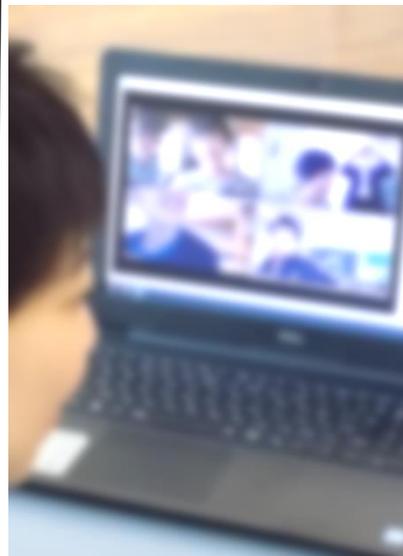
「下町ロケット」の名言「SO」

## 新型コロナに負けない取組

新型コロナウイルスの影響で4月22日から再び学校が休業となりました。しかし、本校ではこうなることを想定して秘密計画を進めていました(笑)。昨年度、日吉中学校と実践した遠隔授業のノウハウを生かし、在宅の子どもに向けて、学校からの遠隔学習をスタートさせたのです。子どもが使用する端末は教育委員会から学校に配当されていたタブレット

## 小規模校の数の少なさを強みに変えて

PC。小川会長さんにご協力いただき、家庭で使えることを事前実験。教育委員会にも許可をいただきました。(何しろ、市内の公立小中学校では前例のない取組ですから。)教職員同士も何度も練習しました。しかし、実践はだれも経験がない未知の世界。果たしてうまくいくのか、職員誰もが不安な中で迎えた22日の朝。パソコンの画面に登場する児童生徒は、少し興奮気味。職員も安



教師側 PC に映し出される Zoom の画面

堵の表情を浮かべていました。使用したアプリは「ズーム」と呼ばれるもの。早速、情報を探った長崎新聞社が取材にかけつけました(4/25朝刊に掲載)。授業

後のインタビュアーに子どもたちは、「普通の授業とそんなに変わらないうい」いろいろな工夫があつて授業が楽しい。」との回答。教員からも「やってみたら、楽しかった。いろいろ工夫していきたい。」とやる気満々の回答が聞かれました。

# 遠隔学習で学びを止めない

## ケセラセラ

25日の長崎新聞の本校の記事がネット上で炎上しています。「12人だからできる」とさ。「ご意見ごもっとも。」「同じ公立なのにすらい。」公立でも各学校工夫を凝らし、特色のある教育活動を展開しています。(しかし、お気持ちは分かります。)「うちは大規模だから無理。」無理かもしれませんが、挑戦してみる価値はあると思います。まずは、本校でも行ったハードとインフラの実態調査から、クリアしなければならぬ課題を明確にします。そこから学校だけでなく、PTAや地域にも協力いただかなければ進みません。「我が家にはスマホとパソコンもあるから別の部屋で2名まで受け入れ協力できますよ。」「私に通っているパソコン教室に協力依頼してみるよ。」「学童にパソコン室を開放しては。」まだまだ日本は捨てたもんじゃありません。みんなの知恵と行動で一歩ずつ進むことを考えてはどうでしょうか。本校は、インフラが整わない子どもたちのため、次は公民館を学びの場とできないか地域と話し合いを進めています。「どんな疑問にも、必ず答えはある。」下町ロケ

# 明るく楽しい学校

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童生徒の育成

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、本年度の育友会総会が実施できませんでしたので、「南の風」の紙面にて、今年度、どのようなことに力を入れて南小中学校を運営していくかと考えているのかについて、紹介させていただきます。

重点的に取り組んでいきたいことは、基本的に昨年度同様に「分かりやすい授業」と「楽しい学校生活」の二点です。

## ●分かりやすい授業

①「さわやかな笑顔が光る授業」さわやかな笑顔ではつらつとした先生の姿は、子どもたちの憧れ。やる気も高まります。授業中、最低1度は笑顔を届けます。

②「さわやか、深い、おもしろい授業」難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことをおもしろく。子どもの学び意欲に火をつける授業をめざします。

③「ICTを効果的に活用する授業」(Padの活用)

④「可視化すること」で、注目を集め、分かりやすさも倍増。少人数を「〇」で強みに変える。教科の特性を踏まえ、悩むより慣れるの精神で、日常づかいを仕組めます。

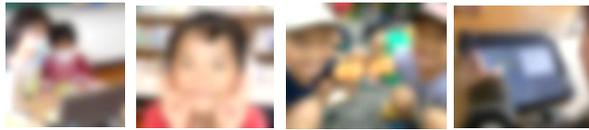
⑤「評価を生かせる授業」(学力カルの活用) 評価は、より良い授業実践のため、個人の学力を分析し、適切なアドバイスをするために生かしていきます。

## ●楽しい学校生活

①「特色のある学校」(出会い・体験)「意図的に出会いや体験の場をプロデュースし、子ども、そして教師も価値観・多様性の幅を広げていきます。」

②「一人一人の居場所がある学校」おとなしい子ども個性が強い子どもみんな自分を見つめてほしい、認めてほしいと思っております。そんな気持ちを受

## 令和2年度 学校経営方針



る環境をつくり出ししていきます。

④「保護者への親身な対応ができる学校」一人ひとりを我が子だったらと思ひ、保護者に安心感を持っていただける、親身な対応を心がけます。

## 明るく楽しい職場

それらを実現していくのは、本校の職員集団です。そこで大事にしていきたいのが、「仕事にやり甲斐を感じ、仲間と連帯感を持つる職場づくり」です。やり甲斐のある仕事とは何でしょうか。私は、「楽しく」「人の役に立っている」「ことを実感できる仕事と考えています。「人の役に立っている」とは、誰かの笑顔になっているということだと思います。私たちの仕事は、子どもたちの笑顔になっているでしょうか。常に振り返りながら、「〇〇先生ありがとうございます。」こんな声が直接学校に届くことを目指します。

③「環境が整備された気持ちのよい学校」美しい教室、美しい職員室。新築ではないけれど、そこに生活する者の心が現れ



一助となればと考えています。どうか、地域の宝でもある子どもたちを、今後とも共に見守り、積極的に声掛けいただければ幸いです。

明るい会話、励まし、サポート、そして笑顔をお互い様の精神で協力する仲間、多様な考え方や価値観、立場の違いを認め合える仲間。小学校・中学校の垣根を作らず、全員で中学三年生の進路選択を応援し、15の春、18の春をともに喜び合う職員室。全員で小学生を見守り、学力向上や健康やかな成長に寄与する職員室。こんな仲間と一緒に働きたい、そんなチーム南を目指します。

## 地域の中の学校

私たちが子どもたちに関わることができているのは、せいぜい数年、担任としては一年ほどです。しかし、「地域」は、子どもたちにとって永遠のふるさとであり、最も身近な社会でもあります。土曜授業や地域ふれあい運動会などが、絆づくりの

子どもたちに対してだけでなく、職員同士も、気持ちのよいあいさつ、

